

平成27年度第2回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成28年度からの 森林環境税を活用した取組について

- 平成28年度からの森林環境税を活用した取組について
- 次期対策の森林環境税使途の考え方
(平成28年度～平成32年度)
- パンフレット「森林環境税で森林を守り育てています」

平成28年3月25日

福島県農林水産部森林計画課

森林環境の保全

【基本目標】

森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成

平成23年度から平成27年度までの主な取組実績

- 水源区域や、水源かん養機能または山地災害防止機能が特に高い森林のうち、荒廃のおそれがある森林の整備を支援。
【実績】 間伐 約7,000ha(計画 10,000ha)
- 森林整備を促進するため、耐久性のある作業道の開設を支援。
【実績】 作業道開設 約45km
- 林内作業路の開設や、搬出に要する経費の支援を実施し、間伐材の搬出を促進。
【実績】 山土場から原木市場等への間伐材の搬出・運搬 約23万7千m³
林内作業路の整備 約250km

平成23年度から平成27年度までの主な取組実績

- 木製品等の導入推進や木工体験の実施により、木とのふれあいを創出。
【実績】 木製品による「ほっと」スペースを設置 公共施設等34施設
小中学生を対象とした木工工作体験や技術指導 のべ442校
木質ペレットストーブや薪ストーブの導入支援 183台
- 市町村により、小中学校の児童生徒を対象とした森林環境学習を実施。
【実績】 実施校実数 674校(全小中学校の96%)
- 森林とふれあうためのフィールドを整備し、森林環境学習の指導者を育成。
【実績】 フィールド整備 ふくしま県民の森をはじめ5か所
指導者育成 もりの案内人 66名

【森林審議会の評価】

東日本大震災及び原子力発電所事故の影響を受けている状況において、森林整備による森林環境の保全や、県民参画による森林づくりが推進されてきたことを評価、さらに継続する。

【指摘された課題】

- ・森林整備の実績は、目標の7割程度であり、今後も積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・手入れが行き届かず、森林の公益的機能の低下が懸念される森林について、広葉樹林化等、森林環境の保全のための取り組みを行う必要がある。
- ・森林の病虫害被害が目立つと感じている県民が増えていることから、その未然防止のための整備など、地域に身近な里山林の整備に取り組む必要がある。
- ・森林資源は年々充実し、本格的な利用の時期を迎えているため、引き続き、間伐材の有効利用を図ることが必要である。

【指摘された課題】

- ・原子力発電所事故の影響により希薄となった、森林と人との絆を回復するため、県民が様々な形で森林とふれあう機会を提供するなど、県民参画による森林づくりを浸透・拡大する取り組みが必要である。
- ・森林を県民全体で支える意識を醸成するため、森林づくり指導者の育成や、企業や団体の森林づくり活動の推進に、一層取り組む必要がある。
- ・森林環境基金制度への理解を促進するとともに、新たに森林認証制度の普及推進に取り組み、森林資源の適正な循環利用の確保に努めるなど、情報発信を拡充する必要がある。

課題に応える平成28年度からの取り組み

○水源区域や、水源かん養機能または山地災害防止機能が特に高い森林を整備【継続】

- ・対象とする齢級をVII齢級以上(上限なし)に変更し、対象森林を拡大。

現対策
III～XII齢級

次期対策
VII齢級以上(上限なし) 68千ha

- ・実施面積 5か年で7,000ha
- ・実施主体や補助率等は現対策の制度を継続。

○バランスの取れた森林資源へ誘導するための再造林を支援【新規】

- ・高齢級に偏っている民有林の齢級構成の平準化、及び若返りを進めるとともに、広葉樹林化など、多様な森林資源へ誘導する。
- ・実施面積 広葉樹再造林 20ha/年
針葉樹再造林 60ha/年

○里山林の整備【新規】

- ・人の生活圏と野生動物の生息地との緩衝帯設置など、里山環境を整備。
- ・実施面積 48ha/年

○路網の整備と間伐材搬出の支援【継続】

課題に応える平成28年度からの取り組み

○県民が様々な形で森林や林業にふれあう機会を提供【継続、一部新規】

- ・森林での施業や製材・加工工場の様子を見学したうえで木工体験を行うなど、福島の木の使用方をめぐる、体験型のバスツアーを実施。
- ・流域内の上下流や、流域間で、地域特性を活かした交流体験活動を実施。
- ・県内の森林文化が継承される地域において、体験イベント等を実施。

○幼児期から青年期までの森林環境学習活動を実施【継続、一部新規】

- ・幼稚園における、森林とふれあう活動や、木製玩具導入の支援を実施。
- ・市町村による、小中学校の児童生徒を対象とした森林環境学習を継続。
- ・新たに、大学生等の森林に関する自己学習活動を支援。

○森林への理解と森林づくり意識の醸成に資する情報発信の実施【継続、一部新規】

- ・森林環境税を活用した取り組みの一層の周知を図るとともに、森林認証制度の普及PRの実施を支援。
- ・県内の巨樹・巨木や、県産木材の良さ、魅力を調査し発信。

○指導者の育成や、森林づくり活動の支援【継続】



次期対策の森林環境税使途の考え方(平成28年度～平成32年度)

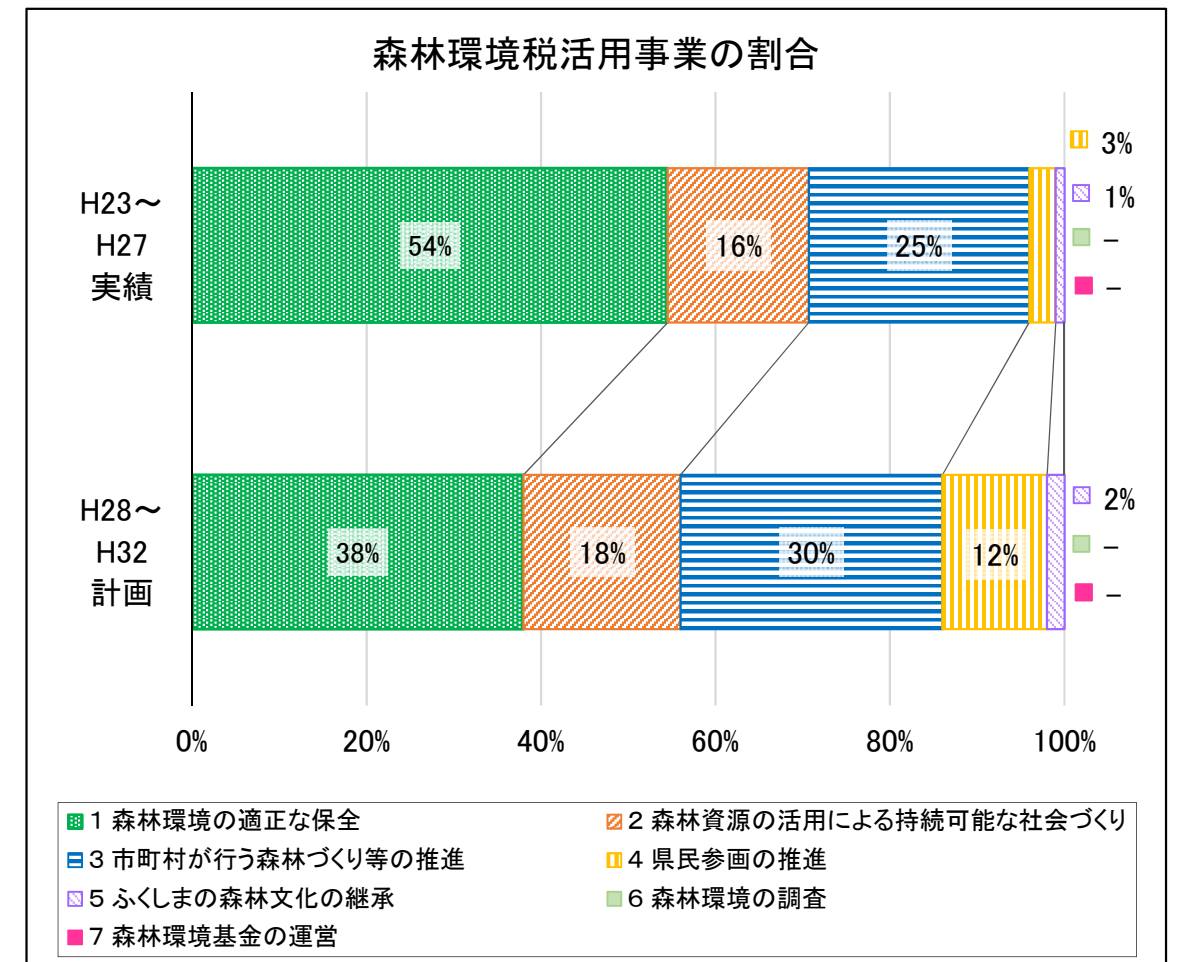
森林計画課 平成28年3月25日

(単位 事業費:百万円)

(単位 事業費:百万円)

区分	事業	事業概要	計画事業費
1 森林環境の適正な保全	森林整備事業	・水源区域及び山地災害防止等の機能の発揮を重視する区域で荒廃が懸念される森林の間伐 ・経営放置林分における広葉樹林化など多様な森林資源への誘導	1,942
	里山林整備事業	・森林との絆回復に向け地域住民等が行う身近な里山林整備を支援	
	森林整備地域活動支援交付金事業	・森林所有者等による計画的かつ効率的な森林経営計画樹立の支援	
	森林環境適正管理事業	・森林資源等の森林情報の発信、及び森林GISシステムの運用	
2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり	間伐材搬出支援事業	・間伐材の搬出に必要な林内作業路の整備と、原木市場等への間伐材の搬出の支援	920
	森林整備促進路網整備事業	・継続的な森林整備を促進するための、耐久性のある作業路の整備	
	ふくしまの低炭素社会づくり事業	・木の使われ方をめぐる体験型のバスツアーの実施 ・住宅への県産木材の利用促進や木質系ストーブ機器の導入支援	
	もっともっと木づかい推進事業	・県産木材によるエクステリア製品の設置など、木とのふれあいを創出	
	地域林業技術伝承事業	・地域における林業技術の次世代への伝承活動の支援	
3 市町村が行う森林づくり等の推進	森林環境交付金事業	・森林環境基本枠 小中学校生の森林環境学習の取組等の推進 ・地域提案重点枠 県産木材や木質バイオマスの利活用等の推進	1,500
4 県民参画の推進	森林づくり総合対策事業	・森林ボランティア活動の促進や森林づくり指導者の育成 等	592
	県立学校における森林環境学習推進事業	・県立学校における森林環境学習の実施	
	ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業 ほか	・森林に関する情報の収集発信と関連イベントの開催 ・森林認証制度の普及PRの支援 ・幼児や青年の森林環境学習活動の推進	
	全国植樹祭準備事業	・第69回全国植樹祭の平成30年開催に向けた準備	
5 ふくしまの森林文化の継承	ふくしまの森林文化継承事業	・森林文化の発掘、及び記録映像の制作と公開 ・桐、漆、野生きのこなど特産林産物に関する文化の継承イベント等の開催 ・里山、食文化、山岳信仰等の活用による地域の活性化	100
6 森林環境の調査	森林環境等調査発信事業	・県内の巨樹、巨木や県民に身近な木造施設等の良さ、魅力の調査・発信	20
7 森林環境基金の運営	森林環境基金運営事業	・第三者機関による評価及び透明性、平等性の確保	6
合 計			5,080

区分	H28～H32計画		H23～H27実績	
	事業費	割合	事業費	割合
1 森林環境の適正な保全	1,942	38%	2,669	54%
2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり	920	18%	786	16%
3 市町村が行う森林づくり等の推進	1,500	30%	1,255	25%
4 県民参画の推進	592	12%	159	3%
5 ふくしまの森林文化の継承	100	2%	54	1%
6 森林環境の調査	20	-	8	-
7 森林環境基金の運営	6	-	11	-
計	5,080		4,942	



(参考) 森林環境基金積立見込み 単位:百万円

	H28	H29	H30	H31	H32	合計
基金積立	1,084	999	999	999	999	5,080

※H28見込みは、現時点の基金残額を含む。
 ※会計処理の透明性を確保するため、森林環境基金を設け適切に管理するとともに、税金に見合った事業を展開します。

森林文化のくに・ふくしま県民憲章

(前文)

ふくしまには豊かな森林、そして清流、湖沼、海、澄んだ空があります。

私たちは、遠い祖先のころから、森林に育まれた多くのいのちの一員として生きてきました。そして、森林に感謝し、畏れ敬い、多彩な森林文化を育みながら、人や物を大切にす優しい心も深めてきました。

しかし、ときにこの感謝や畏れ敬う気持ちを忘れ、母なる森林やそこに棲む多くのいのちを傷つけることもしました。

今、私たちは、ふくしまの森林が未来も豊かであり続けるよう守り育て、その心を次世代に引き継ぐ責務があると考えます。

そのためには、私たち一人一人が、森林の恵みにより生活が支えられていることを理解し、森林づくりの大切さを考え、今できる身近なことから行動することが大切です。

私たち一人一人は、ここに、豊かな森林文化のくに・ふくしまを創ることを誓い、この憲章を制定します。

(本文)

わたしたちは、

- 1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4 森林を守り育て、未来につなぎます。

○この県民憲章は、豊かな森林を守り育て、健全な状態で次の世代へ引き継いでいくため、平成17年11月20日に制定しました。

森林環境税により、県民と企業の皆さまに支えていただきながら、
森林づくりに取り組んでいます。

個人 県内に住所、家屋等を有する方

税率：年額 **1,000円**

※前年の合計所得が一定の金額以下であること等の理由により、県民税均等割が非課税の方には課税されません。

法人 県内に事務所等を有する法人等

税率：年額 法人県民税均等割の10%相当額

区分	年税額
公共法人、公益法人等 資本金等の額が1,000万円以下の法人	2,000円
資本金等の額が1,000万円を越え 1億円以下の法人	5,000円
資本金等の額が1億円を越え 10億円以下の法人	13,000円
資本金等の額が10億円を越え 50億円以下の法人	54,000円
資本金等の額が50億円を越える法人	80,000円

お問い合わせ先

税の
使いみち
について

福島県農林水産部森林計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (県庁西庁舎6階)
電話 024-521-7425
HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/shinrinkankyousei/>

福島県森林環境税

検索

税の
仕組みに
ついて

福島県総務部税務課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (県庁本庁舎2階)
電話 024-521-7067
HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115d/>

福島県税務課

検索

○このパンフレットは、森林環境税を活用して作成しました。

森林環境税で 森林を守り育てています

福島県の森林は、県土の約70%を占め、豊かな自然環境と良好な生活環境を生み出しています。

県民共有の財産であるこの豊かな森林を守り育て、次世代に引き継ぐため、森林環境税を導入し、「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に取り組んでいます。

福島県

写真：「一条の光」撮影／栗原陽子氏 撮影地／二本松市
(第30回ふくしま緑の写真コンクール金賞)



森林環境税を活用した取り組み

森林環境税条例に基づき2つの基本目標を掲げ、7つの施策分野により、基本理念である「豊かな森林文化のくに・ふくしまの創造」の実現を目指します。

森林環境の保全

基本目標

森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成

1 森林環境の適正な保全

間伐などの森林整備を行い、森林の有する公益的機能の十分な発揮を図ります。



森林内が暗く、下草が生えない急な山では、雨による土砂の流出が進み、水源の働き低下や災害の発生が心配されます。

森林内が明るくなり、下草やかん木が繁り、水源や災害防止の働きが発揮されます。

▲森林環境税で整備した森林は、このような看板を掲示してお知らせしています。

- 主な取り組み**
- 荒廃のおそれのある森林の整備
 - 対象森林：水源区域や、水源かん養機能などの公益的機能の低下が懸念される森林
 - 整備面積：5年間で7,000ha
 - バランスの取れた森林資源へ誘導する再生林の支援
 - 地域に身近な里山林の整備 ・ 森林資源情報の管理 など

3 市町村が行う森林づくり等の推進

市町村の創意工夫による独自の取り組みを支援し、県民一人一人が参画する森林づくりを進めます。



- 主な取り組み**
- 小中学生を対象とした森林環境学習の実施
 - 自然観察会や林業体験学習会の開催
 - 荒廃が懸念される森林の環境保全と、地域課題に応える森林整備
 - 県産材を使用した学校等の木造木質化や木製品の導入 など

4 県民参画の推進

森林への理解を深め、ふれあうことができる取り組みを行い、平成30年全国植樹祭を契機として、県民参画の森林づくり活動をさらに推進します。



第69回 全国植樹祭 2018 福島

- 主な取り組み**
- 森林の保全や、森林を全ての県民で守り育て、未来へ引き継いでいく取り組みのシンボル
 - 啓発活動やイベント等、森林づくり活動の意識醸成を図る

県民参加による森林づくり活動の拡大

- 主な取り組み**
- 森林ボランティア活動や企業等の森林づくり活動の推進
 - 森林づくり指導者の育成 ・ 森林環境情報の発信
 - 高校生や大学生等を対象とした森林環境学習 など

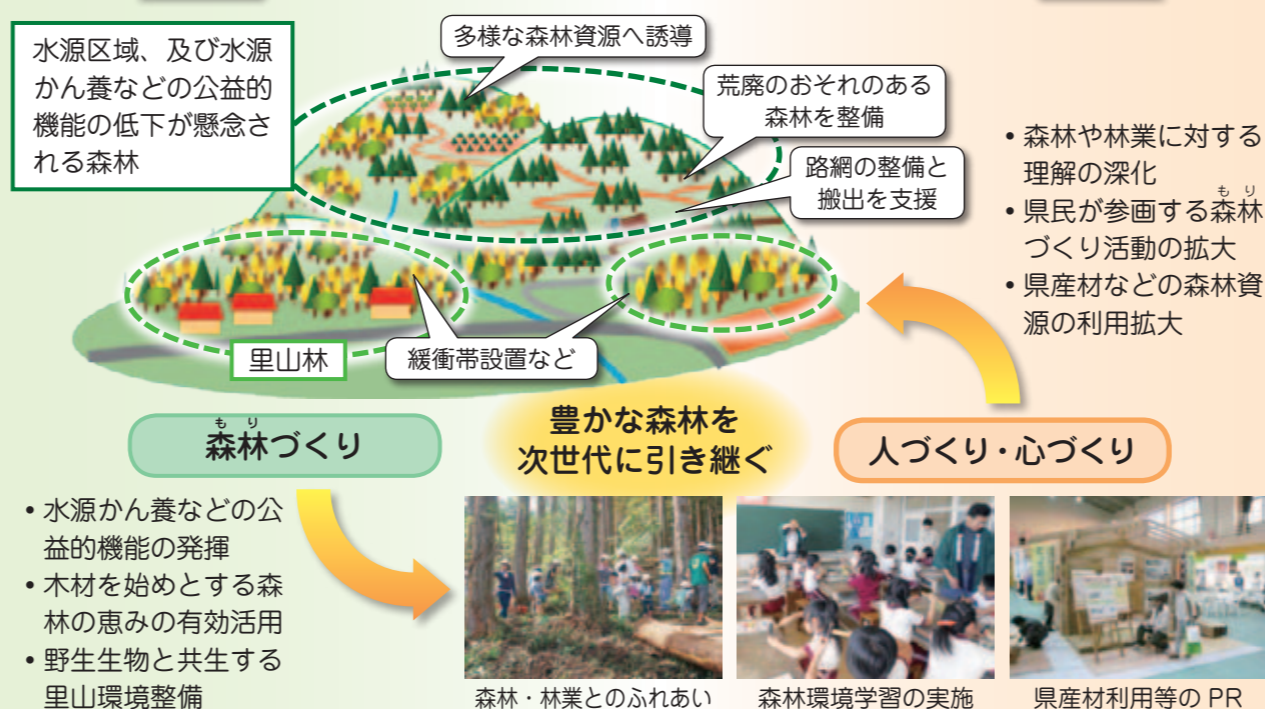
2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

木材などの森林資源の有効活用と需要拡大を進めます。



- 主な取り組み**
- 木材の良さ等の普及啓発
 - 間伐材の搬出支援
 - 住宅や公共施設等の木造木質化の推進
 - ペレットストーブ、薪ストーブの導入の支援 など

森林環境税を活用した県民一人一人が参画する森林づくり



5 ふくしまの森林文化の継承

森林の恵みを有効に活用する技術や知恵、風習などの森林文化を、次世代へ引き継いでいく取り組みを進めます。

森林文化を体験する機会の創出▶



6 森林環境の調査

森林整備や、木材利用による効果等を調査し、周知を図ります。



7 森林環境基金の運営

森林環境基金制度への理解の促進と、事業の適正な運営を行います。



基本理念「豊かな森林文化のくに・ふくしまの創造」の実現